

自治会・町内会の皆さまへ

毎年、宇治市社会福祉協議会(コラボネット宇治)の
会員募集にご協力をいただいております。

今年もご協力のほどよろしくお願いいたします。



住民
会費

一世帯
(1口)

500円

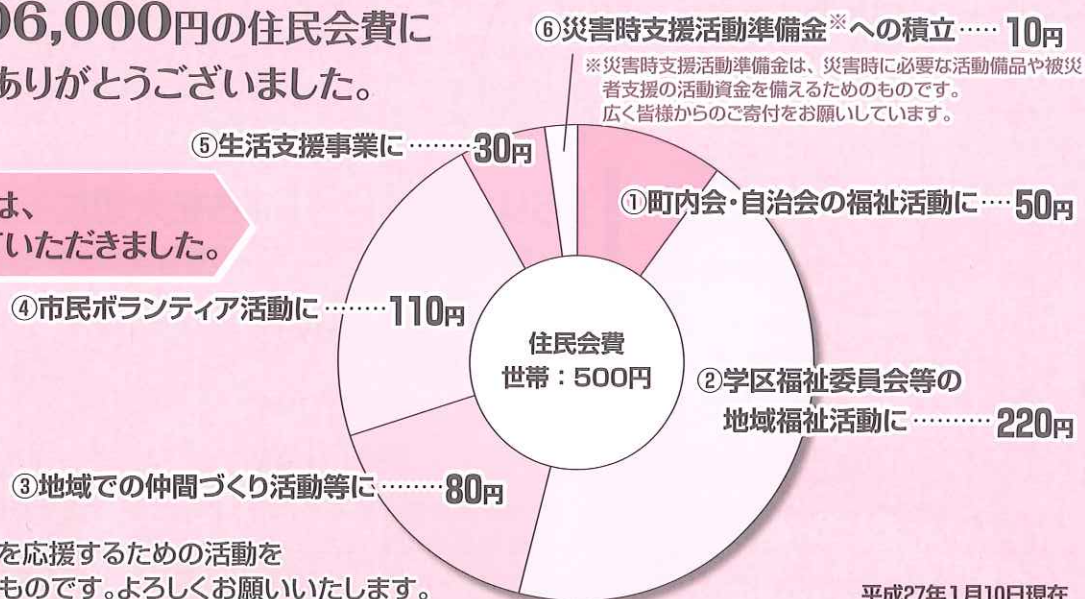
宇治市民の皆さまをはじめ、事業所、団体などで
地域福祉活動を応援するために参加、協力してくだ
さる方を「会員」としてお願いしています。

住民会員は自治会・町内会を通じてご協力をいただいている方々です。

住民会費は1口500円ですが、2口以上のご協力もいただくことができます。(500円に満たない金額
の場合でも、ご協力をいただけると幸いです。)

昨年度は、10,606,000円の住民会費に
ご協力をいただき、ありがとうございました。

いただいた住民会費は、
このように活用させていただきました。



住民会費は、地域福祉活動を応援するための活動を
財政面から支えていただくものです。よろしくお願いいたします。

“宇治らしいつながりをつくっていく”ための会員募集にご協力ください

会員募集は各小学校区内の団体やボランティアで運営されている「学区福祉委員会」の協力を得て取り組みを進めています。



お問い合わせ

社会福祉法人
宇治市社会福祉協議会 (コラボネット宇治)
TEL:0774-22-5650 FAX:0774-22-5654

住所 〒611-0021 京都府宇治市宇治琵琶45 宇治市総合福祉会館内
ホームページ <http://uji-shakyo.net>
e-mail mail@uji-shakyo.net

公式 twitter
@uji_pyon

本会では、地域の皆さんの全員参加による地域福祉活動を目指しています。地域で、様々なカタチで福祉活動に関わっていただけるよう「橋渡し(コーディネート)」するのが、わたしたち、宇治市社会福祉協議会(コラボネット宇治)です。

皆様の会費へのご協力がなくなると、少子高齢化が進む中、これらの取り組みを支えることができなくなります。大変厳しい経済状況ではありますが、ぜひとも、住民会員にご加入、住民会費へのご協力をお願いします。

「つながり」をつくるきっかけに～「防災」は地域のキーワード～

3年前の京都府南部地域豪雨災害、2年前の台風18号での避難指示。災害は必ずやってきます。本会では地域で考える「防災」の取り組みを応援しています。

南部学区福祉推進委員会
調査研修部長 田井章造さん

南部学区内でも、災害時にどんなことができるのか、学区福祉推進委員会だけでなく、地域の諸団体と助け合えてできればと考え、アンケートを実施しました。アンケートを通じて、いざという時のためにどうしたらいいかを考えている町内会長さんと出会い、新たなつながりが生まれました。



「災害ボランティアセンターの回覧板、組数分だけいただけますか」

南部学区福祉推進委員会では、アンケートに合わせて、本会作成の回覧板を自治会・町内会にご紹介いただきました。自助、共助を支えるのは、地域のつながり。南部学区福祉推進委員会の熱意と地元町内会の思いを支え、つないでいます。

三室戸森本町内会
会長 詫間ミサ子さん

自然災害が多くなり、町内会内でも「他人事ではない」と感じる人が増えています。町内会としても防災について、進んでやっというと考えていました。そんな矢先のアンケート実施を聞き、さっそくに箱を設置しました。町内会に加入していない世帯にも配布し、協力をしています。



「はじめよう」を応援したい

皆さんの「地域で何か役に立ちたい」を支える取り組みが、新たにスタートします。その名も「ボランティアマッチングサロン」

宇治ボランティア活動センター
海老名典子さん



新しい取り組みをするときはドキドキします。なんでも初めはまず一歩から。宇治ボランティア活動センターでは、ボランティアをしたい人と、ボランティアに来てもらって少し助けてほしい人をつなぐ「ボランティアマッチングサロン」を始めます。「ボランティア活動って楽しい」を皆さんに伝えたいです。



ボランティアをしている方は、本当に「ささいなこと」がきっかけで、活動を始めた方が多いです。地域には無数のボランティア活動があり、また、同じようにボランティアを求めている方もたくさんおられます。本会は、宇治ボランティア活動センターの皆さんと一緒に、「地域がボランティア活動でつながる」ことを目指し、ボランティア活動を盛り上げます。



「ありがとう」の気持ちを大切に～「大学生」と「高齢者」をつなぐ～

宇治市内20か所にある介護予防普及啓発事業でのリハビリ教室。地元大学の学生さんが授業をきっかけにボランティアとして参加。授業が終わっても継続してボランティアに参加してくれています。

ふれあい北楨
代表 中村隆子さん

学生さんたちが来てくれて、雰囲気が一気に華やいています。クリスマスには、一言メッセージを添えたお菓子を配ってくれたり、積極的に参加してくれています。利用者さんも、毎週楽しみにしてくれています。



地元大学の学生のボランティア参加によって、ボランティア、利用者も大学のイベントに参加したり、共に交流が広がっています。活動終了後のハイタッチでの学生によるお見送り。高齢者に、ボランティアに元気を送ってくれます。

白岩菜実さん
溝田真希さん

とにかく、楽しいんです!ここに来てもらったらわかります!!
利用者の皆さんには、戦争の話や、家族の大切さの話を教えていただいています。知らないこと、わかっていないことを教えてください、感謝の気持ちでいっぱいです。



支援する人、される人、それぞれをつなぐ

認知症高齢者や精神障がい者、知的障がいの方が、地域で生活をしていくための支援の一つに「福祉サービス利用援助事業」があります。福祉サービスを利用するために、日常的な金銭管理や年金等の書類の確認を一緒にを行っています。

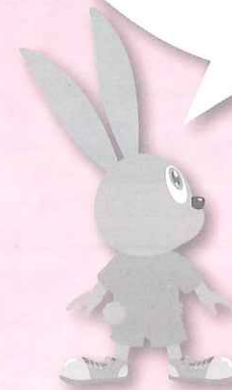
相談支援事業所
つなぎ 竹内美江子さん

制度を利用して、きっちりしすぎているなと感じることもあるけど、1日のはじめができるようになった。1日に使えるお金もわかってきた。そのおかげで、ヘルパーさんに買い物に行ってもらえるようになって、食べることに困ることもなくなった。これからは、多く使う日、少なく使う日、メリハリをきっちり分けられるようにしたい。



利用者さんが納得し、選択する過程には丁寧な説明と、利用者さんが受け止めて考える時間が必要です。そのことが、生活の安定につながっています。利用者さんの夢や希望に近づけるように、利用者さんの「想い」を専門職につなぐ、「橋渡し」の役割をしていきます。

皆様の会費は、例えば右のような活動を支えるために、活用させていただきます。



自治会、町内会等の役員の皆様へ

皆様からご協力いただいた会費を活用して、回覧板を作成いたしました。回覧板をご入り用の自治会、町内会様はお手数ですがご連絡ください。



また、地域行事で活用いただける備品を無料で貸出ししております。(購入には、ご協力いただいた会費や赤い羽根共同募金を活用しております。)営利目的の活動には貸出しはできません。また車イスなど備品によっては個人の方への貸出しも可能です。

貸出備品リスト

長机/パイプイス/車イス/シャワー用車イス/大釜/炊飯器/電動もちつき機/綿菓子機/たこ焼き器/かき氷機/鉄板焼き器/ポップコーン機/液晶プロジェクター/スクリーン/DVD再生デッキ/パネル板/電気ドラムコード/ワイヤレスマイクセット/大会用テント

申込方法

希望日の属する月の2ヶ月前の月の1日、午前10時より受付開始。初日(1日)は必ず総合福祉会館へ来館での申込受付。(希望者が集中する場合、他団体と重なった場合は10時の時点で抽選となります)